

日東工器グループ
中期経営計画2023
(2022年3月期～2024年3月期)

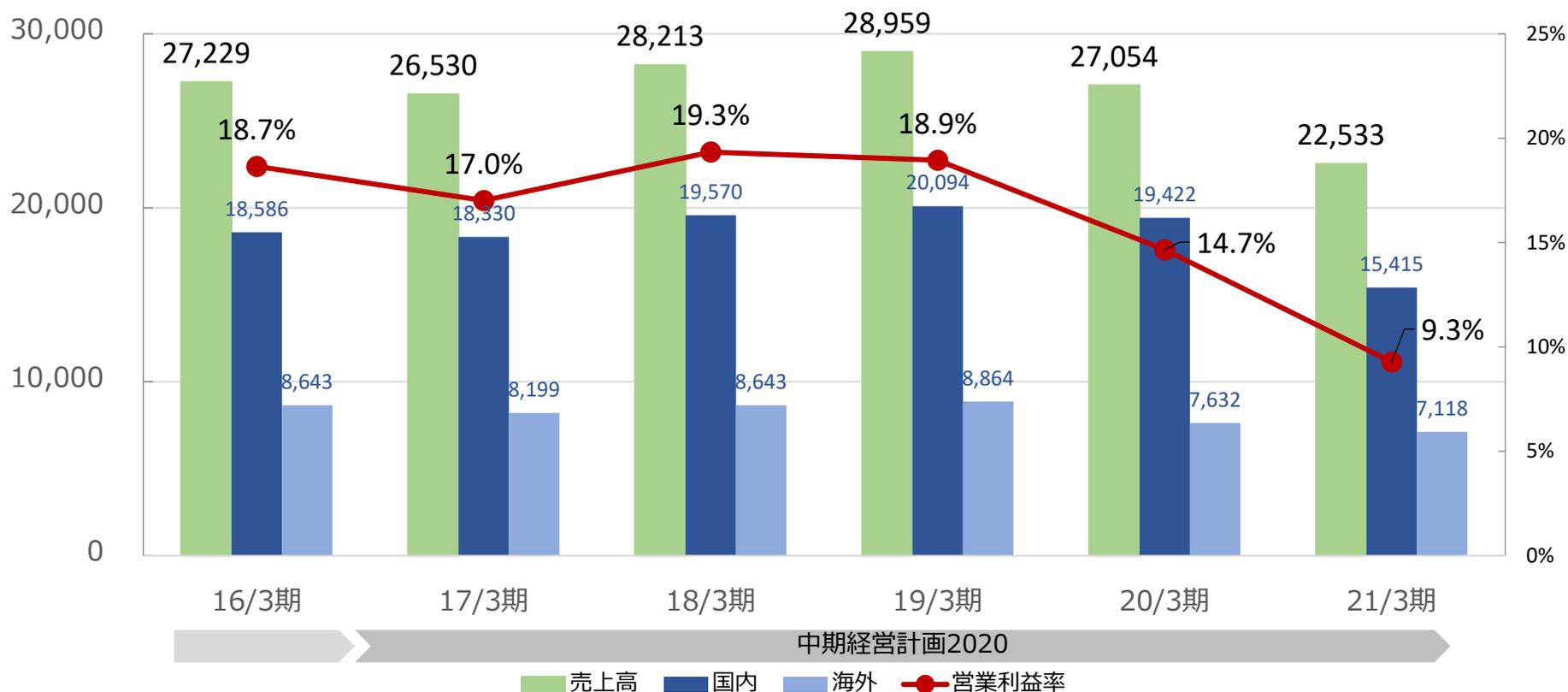
2021年5月25日

日東工器株式会社

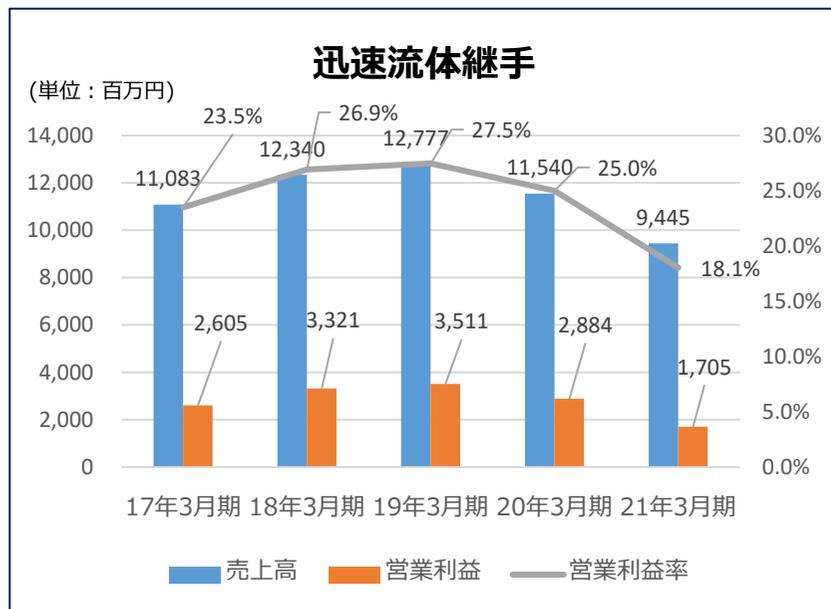
- ・ 2020年3月期の下期より中国経済の影響を受け、業績が減速。
- ・ 2021年3月期はコロナが全世界で拡大したことで販売活動の停滞、需要の低迷により減収減益となった。

売上高及び営業利益率推移

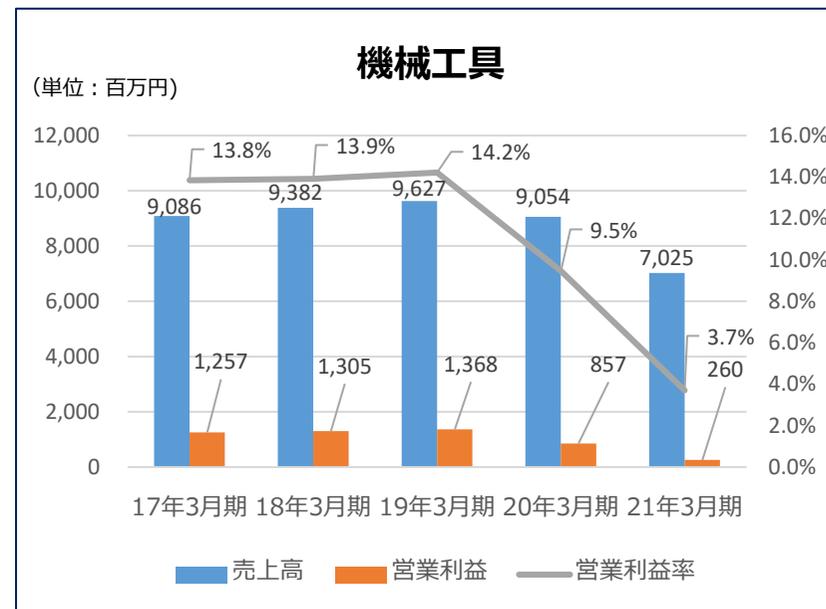
(単位：百万円)



セグメント別業績推移

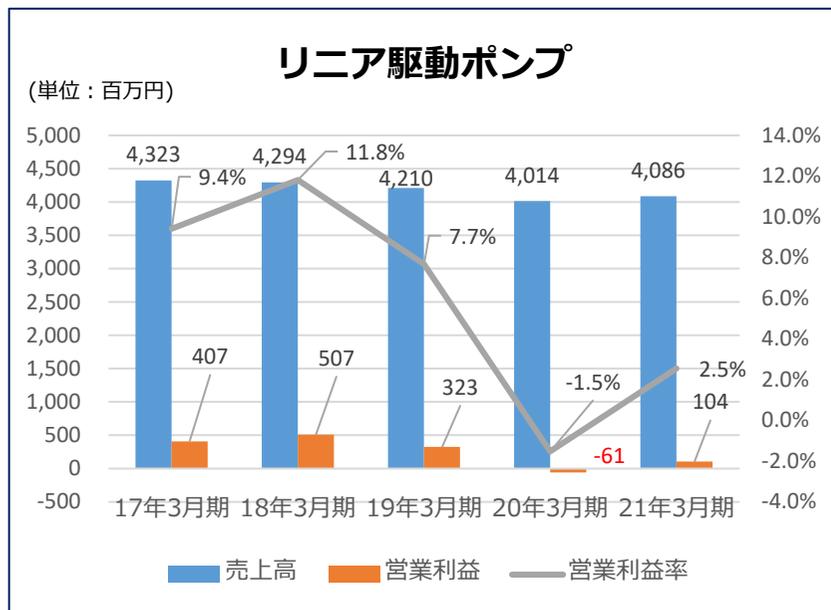


- ✓ 20年3月期後半より米中貿易摩擦の影響により半導体関連、工作機械セット需要が低迷

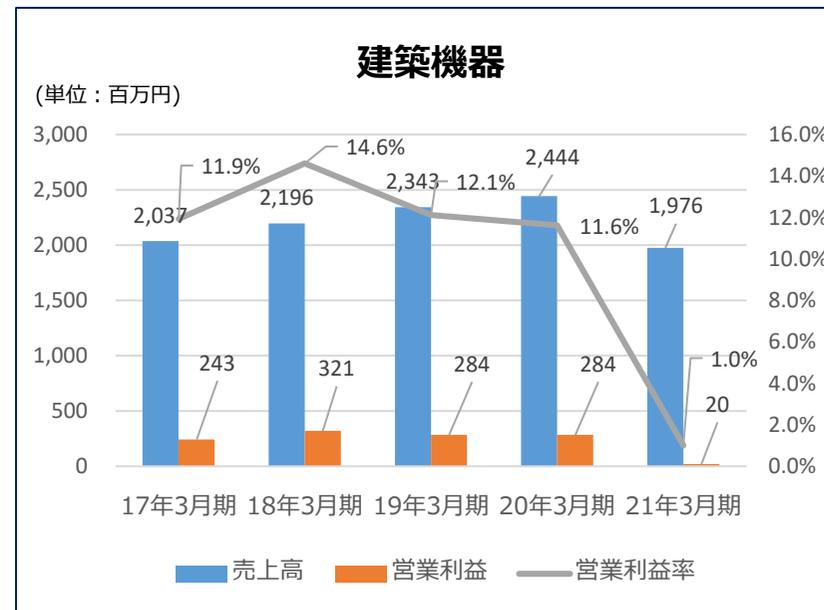


- ✓ 建設需要は五輪特需後で低迷
- ✓ コロナ禍による販売機会の減少が売上に影響

セグメント別業績推移



- ✓ 19年3月期より製品群の売上構成の影響により利益が減少
- ✓ 21年3月期はコロナ禍における医療機器需要増と新製品投入により増収増益



- ✓ 18年3月期は価格改定により利益率が改善
- ✓ 五輪需要もあり20年3月期の売上高はレコード
- ✓ 21年3月期はコロナの影響を受け、売上減

長期ビジョン「創業100年企業へ」

新製品・新事業開発

グローバル展開

社会貢献と事業活動
の両立

社是「開発は企業の保険なり」を基盤に

社会から必要とされる企業であり続ける

1 ニューノーマルにおける新たな事業戦略の確立

● 海外事業

- 海外でのブランド認知度向上
 - ▶ WEBサイトの拡充、広告媒体の積極活用
- 新規販売チャネル開拓
 - ▶ オンライン商談、システム活用
 - ▶ 医療・水素ビジネス市場の掘り起こし

● 国内事業

- 日東工器グループのネットワークを駆使した、販売網の展開
 - ▶ セグメントの垣根を超えた情報共有の強化
- 新分野・新ニーズの開拓
 - ▶ 新カテゴリーの継続的開拓営業

2 新製品・新規事業の開拓

3 新しい生産体制の構築

- 脱炭素社会・新エネルギー分野の新規開拓
 - ▶ FCV水素充填用製品のラインアップ拡充とそれ以外の水素燃料関連市場の新規開発
- 自動化、高機能・高付加価値製品の開発とシリーズ拡充
 - ▶ エア工具、電動工具、デルボ市場の深耕と拡大

- 生産体制の最適化
 - ▶ 各生産工場のボーダレス化の推進
 - ▶ 自動化設備の導入による効率化
 - ▶ IT機器でのデータ解析、運用による見える化
- 購買の最適化
 - ▶ 各種システム導入による在庫適正化

4 組織体制の強化

5 「社会への貢献」と事業活動の両立

- ITシステムによる業務合理化と付加価値の向上
 - ▶ 新基幹システムによる分析強化、ITインフラの強化
- パンデミック、自然災害リスク・経営リスクに備えた危機管理体制
 - ▶ BCP対策と想定外の災害時における体制の強化・拡充

省力・省人化技術で更なる
経営の推進と社会貢献

 持続可能な社会の実現



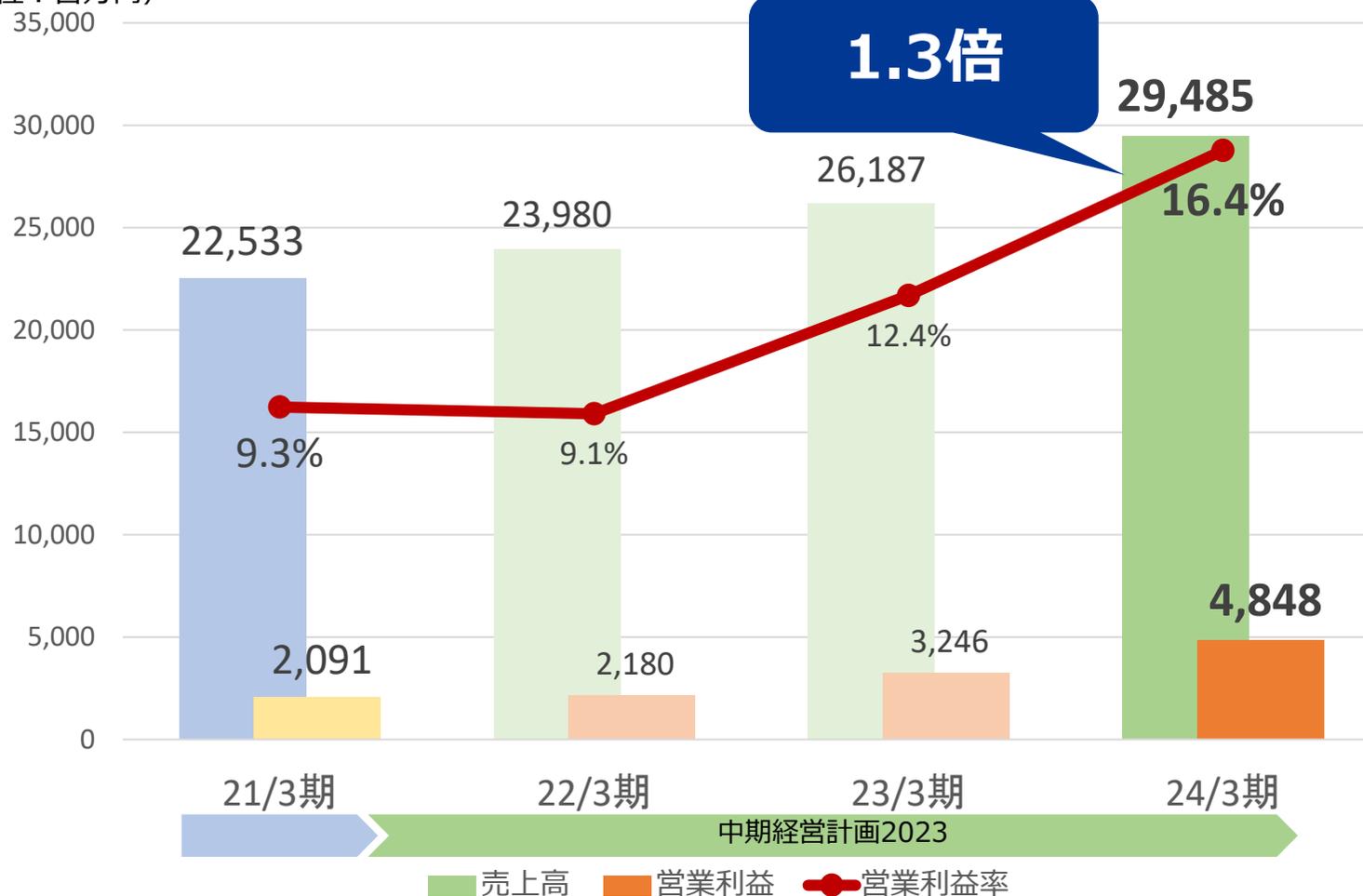
中期経営計画2023 計画



2024年3月期業績目標

売上高 29,485百万円
営業利益 4,848百万円

(単位：百万円)



(注)2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準29号等)を適用するため、上記22/3期以降の業績予測は当該会計基準を適用した後の金額となっております。

将来予測に関する免責事項



当資料に記載されている将来の業績の見通しは、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、これらの見通しと大きく異なる結果となる場合がありますことをご承知おきください。